

御油小「校長室より」2学期学校の風景6



【6年生 京都・奈良 修学旅行 10月4日、5日】

6年生の児童が修学旅行へ行ってきました。初日は国府駅から名鉄電車で豊橋駅に向かい、そこから新幹線に乗り換えて京都へと出発しました。京都に到着した後は、グループごとにタクシーで移動する分散研修を行いました。知識豊富な運転手さんに案内していただきながら、清水寺や金閣をはじめとする歴史ある名所を巡りました。見学先では「教科書で見た金閣寺が本当に金ピカでびっくりした」「清水の舞台からの景色がすごくて感動した」と、子どもたちが興奮気味に話してくれました。



2日目は、バスを使って奈良の東大寺へと向かいました。大仏殿に入り、想像以上の大きさを誇る大仏様を見上げた子どもたちは「想像以上に大きくて大迫力だった」とその存在感に驚いていました。拝観した後は、鹿とふれ合いながら奈良公園内を班別分散学習で散策し、歴史や自然を感じながら仲良く歩を進めました。その後は法隆寺へと移動し、世界最古の木造建築である歴史的な建物や仏像をじっくりと見学しました。

仲間と声をかけ合い、互いを思いやりながら過ごしたこの2日間は、子どもたちにとって大切な思い出となりました。「みんなで声を掛け合って時間通りに行動できて良かった」「みんなとの絆が深まった気がした」といった感想も聞かれ、6年生としての頼もしさを感じるよい機会となりました。また、子の修学旅行に行くために支えてくれた、保護者・先生への感謝の気持ちもしっかりと芽生えたようでした。今回の修学旅行で得た学びや感謝の気持ちを、これからの学校生活にもぜひ生かして欲しいと願っています。

【1年生 虫とり 10月5日】

1年生の児童たちが、生活科の学習で学校の近くにある松並木公園へ虫とりに出かけました。この活動は、松並木公園の動植物に直接ふれ合いながら、身近な自然に親しむことを目的として行っているものです。公園に着くと、子どもたちは目を輝かせながら、草むらや木の幹をじっくりと観察し、夢中になって虫を探していました。実際にバッタやトンボを見つけると、「大きなバッタが捕れたよ!」「葉っぱの裏に隠れていたんだよ」と、うれしそうに見せてくれる姿がとても印象的でした。

最近には虫にふれる機会が減り、少し苦手だと感じるお子さんも増えているように感じます。しかし、こうして実際に自分の目で探し、肌でふれ合う体験を通して自然に関わることは、生き物を大切にする心や豊かな感性を育む上でとても大切なことだと改めて実感いたしました。夢中で生き物を追いかけた子どもたちにとって、秋の心地よい自然を感じるよい経験となりました。

